

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系注入接着剤
- 特 長 1) コンクリート、鋼板に対する接着性に優れる。  
2) 粘度が比較的 low、注入作業に優れる。
- 用 途 1) 首都高速道路株式会社「構造物補修・補強用樹脂施工要領」（2022年6月）  
SDK E-103（鋼板接着注入材）規格適合品
- 配 合 比 主 剤：硬化剤 = 7：3 （重量比）
- 荷 姿 10kg/缶（5kg/セット×2セット）  
1セット：主剤（赤フタ）/3.50kg、硬化剤（青フタ）/1.50kg
- 外 観 性 状 主 剤…無色透明液状  
硬化剤…淡黄色透明液状  
混合物…淡黄色透明液状

## 可使時間の目安

タイプ	SDK E-103W SB			SDK E-103 SB		
	冬用 (W)			夏用 (S)		
温度 [°C]	5	10	20	15	20	35
可使時間 [分]	130	70	30	170	120	20

※社内法により測定

- 比 重 1.1～1.9 （硬化物）
- 貯蔵保証期間 12か月 （未使用、冷暗所保存）
- 消防法による区分 主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性  
硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
- 毒物及び劇物取締法 主 剤 該当しない  
硬化剤 該当しない
- 使用 方法 1) 主剤（赤フタ）、硬化剤（青フタ）を配合比に従って、秤量して使用する。  
2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。  
3) 電動ポンプ、足踏みポンプ等で、混合物を注入する。
- 使用上の注意 1) 1セット単位で攪拌する場合は主剤（赤フタ）と硬化剤（青フタ）の各1袋を  
組み合わせて混合攪拌する。  
2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。  
3) 可使時間内に作業を終了する。  
4) シンナーや水を混入して使用しない。

## ⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。